

## 巻頭言 経営品質協議会代表 泉谷直木


### 経営を変えたいのであれば、経営者が変わること

組織を変えたいと願うのであれば、まず経営者自身が変わらなければ、何も変わらないということを心に留めてほしい。なぜなら、すべての権限は経営者が持っているからだ。

かつて、イノベーションは社長が取り組まなければ起こらないとさえ言われていた。これは、部下に「変われ」と命じるだけでは、企業は決して変革しないという厳然たる事実だ。「魚は頭から腐る」という言葉がある。トップが現状維持に固執したり、変化を怠れば、企業全体が停滞し、やがて衰退へと向かってしまう。IT革命の時代、私たちは効率化の必要性を知らながらも、雇用保障の問題を理由に最低の決断をしてしまったことが、「失われた30年」の一因になった。これは、先を読み、早期に変革に着手することの重要性を示唆していることに他ならない。経営とは、常に厳しい。しかし、その中で「自身のレベルを下げない」というプライドを持ち、常に努力を続けることが、より良い経営者となる道だと私は信じている。皆様が自らを変える覚悟を持つことこそが、未来を切り拓く第一歩だ。

### コミュニケーションはWHYから始めよ

これからの時代、従来の指示命令型のコミュニケーションでは、社員は自ら考え、行動することができない。大切なのは、「なぜやるのか(Why)」からコミュニケーションを始めることだ。従来の「いつ(When)、どこで(Where)、誰が(Who)、何を(What)、どうやって(How)」といった要素に焦点を当てるやり方は、変化の激しい現代には対応できない。特に、社員から意見が出ない、自主性が低いといった課題を抱えている企業は、意見が出る仕組みや環境が整っていないことが多いのではないかと私は思う。私は、WHY、WHAT、HOWの順で議論を進めることを提唱している。そして、特にHOWについては、多様な意見を持つメンバー全員で知恵を出し合い、資源を集めることが求められる。社員が自ら手を挙げ、「これが得意だからやりたい」「これを経験したい」といった主体的な参加を促すことで、彼らのモチベーションは格段に向上するであろう。また、トップは社員がいつでも相談に来られるよう、例えば社長室のドアを常に開けておくなど、メッセージと行動を一致させることが、信頼関係構築に繋がる。そして、全員の足並みが揃うのを待つのではなく、1割でも理解してくれた人がいればGOサインを出すといった割り切りも、現代の経営には必要だ。報告・連絡・相談(ホウレンソウ)も、これからは相談・連絡・報告(ソウレンホウ)へと逆転させることで、スピード感を持って意思決定できる環境を築いていけるはずだ。

2025年第4期未来創造塾「塾長講話」より 

## 7月号

巻頭言：P1

地域イベント報告：P2-9 三重県経営品質協議会・会津若松経営品質協議会・福井県経営品質協議会  
長野県経営品質協議会

報告：P10-11 2025年度第1回日本経営品質賞委員会／2025年度経営品質協議会第1回幹事会  
全国地域経営品質協議会イベント情報・ご案内：P12-16

# 報告：「三重県経営品質賞授賞式／顧客価値経営フォーラム」



三重県経営品質協議会  
運営委員長 松浦 信男

去る、2025年6月30日、三重県勤労者福社会館において、2024年度三重県経営品質賞授賞式および顧客価値経営フォーラムが開催されました。コロナ禍を経て、リアルなイベント開催は、わが協議会においては本当に久しぶりで当日は会場に70数名、オンラインでも同数集まり、合計140名を超える参加者を集め、おそらく三重県経営品質協議会の長い歴史のなかでも最大数の参加者を集めるイベントとなりました。参加者には、経営品質活動に長年取り組んでいる企業から、新しく事業を始めたばかりの小さな会社、経営品質を勉強し始めたばかりの会社など多種多様な方々が参加されました。

午後2時からの開催で、三重県による2024年三重県経営品質賞優秀賞 受賞企業の株式会社志摩地中海村の表彰式のあと、審査委員長の岡本正耿先生と運営委員長である松浦がコーディネーターとなり、2023年度優秀賞を受賞した株式会社コムデックと株式会社地中海村それぞれの経営者を迎えての約2時間にわたる講演とネットワーキングを行いました。



それぞれの企業発表に加えて、岡本先生の鋭い示唆に富む発言の甲斐もあり、終了後のアンケートでも大変ご好評をいただきました。

実は三重県経営品質協議会は、今年の3月をもって、解散することになっていました。しかしながら、この伝統ある、三重県経営品質協議会の歴史を閉じることは、あまりに忍びなく、私の経営する万協製薬株式会社が事務局機能は無償で引き受け、私が運営委員長となることで、会の存続をすることができました。

しかしながら、ただ会を続けるだけではだめだと思います。まずは、経営品質を取り入れることで企業の成長や売上向上を目指す会員数を増やし、多様な学びのコンテンツを提供できる会の継続をすることを目的に活動しております。そこで三重県経営品質運営委員会をはじめ運営委員長の私は、全国の20か所ある地方経営品質協議会の連携こそ、今、必要であると考えています。それぞれの協議会のイベントをビデオ収録して、全国の協議会で視聴できるようにしてはどうかと考えています。



それぞれの会独自の活動を共有することで、もっと多くの事例が学べると思います。やはり経営革新活動の事例を1つでも多く学んでこそ、自社の経営のヒントや成長のきっかけとなるのではないかと思います。これをお読みになっている地方協議会に参加の皆さんで協力して、アーカイブされたものをどんどん共有していきませんか。

まずは日本生産性本部にはオンラインでの動画視聴システムがありますので、そちらにぜひ講演会やセミナーの画像を共有ください。

これが進むことで、より地方協議会の連携が進み、やがて全国規模で地方協議会のフォーラムの開催につながれば、こんなに嬉しいことはありません。全国的にも会員数の伸び悩みを抱えている協議会があると耳にしています。解散という決断まで考えた三重県の実情は、きっと明日の皆さんの状況だと思います。もう一度、経営品質の熱い炎を我々、地方協議会から立ち上げましょう。

このためなら私はなんでもやります。地方協議会の連携、情報共有、その他何でもご連絡ください。待っています。

三重県経営品質協議会 事務局

<http://www.miequality.net/>

三重県多気郡多気町仁田725-1 万協製薬株式会社内

TEL:0598-30-5266 FAX:0598-30-5285

e-mail: [bsupport@miequality.net](mailto:bsupport@miequality.net) 

# 報告：「福井県経営品質協議会定時総会」



福井県経営品質協議会  
事務局長 野坂 典央

一般社団法人福井県経営品質協議会は、2025年7月2日に2025年度定時総会を開催しました。冒頭の清川会長の挨拶は、先日、福井を訪れた脳科学者の講演およびその先生の過去情報に基づき、「人が幸せを感じるタイミング」について、生成AIを用いて500文字に要約したところ、1つ目は目的や目標に向かって継続して取り組んでいる最中、2つ目は外的要因ではなく内的要因による感情の変化の2つであることを紹介され、組織改革の醍醐味とダイナズムの一部を語っていただきました。また、任期終了に伴う会長退任も併せて感謝の報告となりました。その後、2024年度活動報告および決算報告、2025年度活動計画と予算計画、さらに役員改選にともなう役員選任など3議案の審議を行いました。その結果、全て原案通り承認されました。そして、定時総会後の役員会において、吉田真士（よしだ まさひと）新会長が選出され、地域発展のために尽力する旨の挨拶がありました。

2025年度の活動計画では特に、

- ①定時総会後に行われる講演会のアーカイブ視聴会
  - ②旧アセスメントコース参加者や実践推進者コース参加者を対象とした顧客価値経営ガイドラインの深堀
  - ③ワークショップ：実践マーケティングとして顧客の深層心理に迫る顧客調査技法
- などの実践力を磨く活動を行うことの報告が行われました。

定時総会後には、2024年度の日本経営品質賞本賞受賞企業のトップ保険サービス株式会社の野嶋康敬社長を講師にお招きし、「売らない」からこそ伸びる経営の新常識 ノルマも新規開拓も不要 -- 常識破りと価値創造で進化を遂げる企業の挑戦 -- と題しての講演会が行われました。



この講演の参加者90数名（保険会社関係者20数名）に向けて、トップ保険サービス株式会社様での具体的な取り組みについて熱く語っていただき、時にはダンスを披露されるなど、参加者に多くの気づきと共にユーモアも学ばせていただきました。各参加者の組織において改善や改革が進むのではないかと予感されるものでした。講演会後も参加者の多くが野嶋社長を取り囲み質問攻めにしていた様子がとても印象的でした。



その後、当協議会の役員や有志との食事が開かれ、楽しいひと時を過ごすと同時に野嶋社長様の情熱を分け与えていただき、翌日からのモチベーションに変えることができました。野嶋社長様、ありがとうございました。

そして翌7月3日の福井新聞紙面にて講演会の様子や吉田新会長（福井新聞社 代表取締役社長）が新任されたことが伝えられました。（新聞記事は、野嶋社長のFacebookで読むことができます。）


講演会アンケートの集計では、講演会について大変好意的な感想が、そして気づいた事柄から自社での活動への展開など、参加者の意気込みを感じる結果を得ることができました。

さて、主催者の一人として事務局担当者として、さらにはアセッサーとしてトップ保険サービス様の要約版にある「好循環の図」の意図をお聞きできました。これは参加者や推進者、JQA活動に取り組む方々にとっては、とても腑に落ちるものであると納得しました。この考え方は是非、顧客価値経営ガイドラインに落とし込んでいただきたいと思います。

そして自然現象が経営と結びつく図であると感じました。ひとつのPDCAからPDCAの渦へ、複数のPDCAの渦が大きなトルネードへと成長するさまは、組織の成長そのものだと感じるのは私だけでしょうか？併せて、世界的なトルネード研究の第一人者の故・藤田哲也先生と福岡県北九州市との縁も知ることができ、とても記憶に残る・理解を促進する説明と説明技法を野嶋社長から伝授いただけたこともありがたかったことの一つです。



私は、「企業が社会を変える」と信じています。社会的課題を解決すること以上に世の中を変える潜在力を秘めていると考えており、そのモデル起業を輩出し表彰する制度は有意義なことであると思います（とても長い年月を必要とするかもしれませんが）。そこに携わることができることは大変ありがたいと感じており、さらに、地域に貢献できる地方協議会にしていくことができれば有難いです。引き続き、経営品質協議会、各地の経営品質協議会と共に活動を続けていくことを願っております。

お問い合わせは福井県経営品質協議会（TEL 0776-30-0500）まで 

# 報告：「経営品質フォーラムinあいづ2025」



会津若松市役所 商工課  
商工労政グループ 曲山 美乃里

会津若松経営品質協議会では、経営品質の普及啓発と当協議会の活動を広く知っていただく機会として、毎年「経営品質フォーラムinあいづ」を開催しました。今年は、令和6年度会津若松経営品質賞表彰式も併せて実施し、多くの組織の皆様にご参加いただきました。今回、本フォーラムの開催レポートとともに、当協議会の活動について紹介します。

当協議会は、会津若松市商工課に事務局を置き、市内の経済団体や各種関係団体で構成され、活動の周知など連携を図りながら、各種講座やセミナーの開催、会津若松経営品質賞などの事業を実施しています。会員組織には、会津若松市内のみならず、会津地域全域に会員がおり、地域全体の経営品質向上に向けて活動しています。

近年、会員数は減少傾向にあり、物価高や米国の通商政策などの外的要因に加え、人口減少に伴う人手不足など、地域の経営者を取り巻く厳しい環境が、その要因であると考えています。

このように目まぐるしく変化する時代だからこそ、経営の質を高め、持続可能な組織づくりが益々重要であり、「会社をもっと良くしたい」「社員が生き生きと働く職場をつくりたい」と考えている潜在的な経営者に対し、経営品質の普及をどのようにアプローチしていくかが、当協議会の大きな課題となっています。



その普及を目指す活動の一つとして「経営品質フォーラムinあいづ2025」を7月3日に開催しました。本フォーラムは、会員組織のみならず、より良い経営を目指す経営者や管理職、従業員の方に、経営品質の考え方や取組事例を紹介し、実践のきっかけとなることを目的として、会津地域の組織に広く周知し、企業間の交流にもつながる機会としました。

今年は、マーケティングプロモーションセンター代表取締役・岡本正耿氏による記念講演「顧客価値の革新とブランド戦略」をはじめ、令和6年度会津若松経営品質賞を受賞した株式会社太郎庵


による受賞報告講演と、令和4年度に同賞を受賞した荒川産業株式会社並びに株式会社三義漆器店による受賞後の取組報告講演を行いました。

発表では、成果を生み出したプロセスを振り返る重要性やありがたい姿と現状認識のギャップを埋める必要性など、実践的な事例とともに紹介され、参加者の皆様に多くの気づきを与えていただきました。

また、各講演の後には、参加者同士が気づきや自社の課題を共有するワークショップを実施した。参加者の皆様が積極的に意見を交わす姿が見られ、地域企業間の交流や、経営に対する前向きな空気を感じられたことは、当協議会にとっても大きな喜びであり、今後の地域全体の経営品質向上への可能性を実感しました。



今後も、こうした学びや交流の場を提供するとともに、地域課題や経営者のニーズを把握し、地域経済の発展と地域全体の経営力の底上げを目指し活動していきたいと考えています。

お問い合わせは、会津若松経営品質協議会 (TEL0242-39-1252) まで。 

## 報告：長野県経営品質賞表彰式



顧客価値経営ガイドライン企画開発  
ワーキングメンバー 高橋 清氏

2024年度は、長野市の株式会社山翠舎(さんすいしゃ)が長野県経営品質賞優秀賞を受賞、表彰式は7月14日に行われた。会場となったFEAT.SPACEは、2022年にオープンした株式会社山翠舎の関連会社である信濃ウイングス株式会社が運営するイベントスペース(会議室・コワーキングスペース、カフェ)で、善光寺参道周辺にある倉庫を、古木を使い利活用して収益化したもの。1階のCafe winds daimonで懇親会を行いました。

式典では、代表取締役社長山上浩明氏による「古木を活用した顧客価値経営の実践」～下請け施工会社からの歩み～と題してトップスピーチが行われました。私は審査リーダーとして表彰式に参加したので、そのスピーチ内容の要約をお届けします。



山翠舎の事業の中心にあるのは「古木(こぼく)」と呼ばれる、戦前80年以上に建てられた古民家の解体から発生する貴重な柱や梁などの木材の活用です。

創業以来「断らない姿勢と無理難題にチャレンジする精神」を大切にしてきた。自社工場で作作家具を内製化し、現場での取り付けまでを一貫して行うことで、コストを抑え

ながらも高品質を実現し、リピーターを獲得してきました。これは、お客様が抱える「難題」を解決する中で、建築・工場加工の範囲を超えた「解決ノウハウ」を蓄積してきた成果です。また、知財戦略も積極的に推進し、「古木」や「KOBOKU」、「全方よし」といった商標登録に加え、「古材マッチングシステム」に関する特許、「古民家ジャッキアップ工法」の特許出願中など、知的財産を活用して事業をスケールさせています。

創業は、1930年に建具職人の祖父によります。二代目の父が法人化し地元のゼネコンでの経験を活かし、地域の大工とのネットワークを広げ、工場を持つ強みを活かしてコスト削減し、下請け価格で優位に立てました。1986年に「株式会社山翠舎」に社名を変更し、2005年に現社長である山上浩明が入社し、2006年に「もったいない」の精神のもと「夢蔵」を開設し、通常は廃材となる古木の買取・販売事業を開始した。2009年に元請けへの脱却を目指し、古木を活用した店舗デザイン事業を開始した。現在では500件を超える設計施工事例があり、一つとして同じもの

がない際立った空間を提供しています。安価な古材の「リサイクル」から、ストーリー性を持たせて付加価値を高める「アップサイクル」という新たな市場開拓へと繋がっていきました。大町市に日本最大の古木倉庫兼工場を開設し、常時5,000本を超える古木を保有しています。古木には個々に識別番号付きのタグを取り付け、採取地と出荷先をデータベースで管理するトレーサビリティシステムを確立しました。



そして、2019年には古木として世界初の「FSC認証」を取得しました。2012年に開始した古民家移築再生事業は、空き家古民家を遊休不動産と捉えて、事業者の誘致やファイナンスまでを一手に担う「デベロッパー事業」へと進化しています。発展形として、小諸市における分散型ホテル計画や、長野市善光寺周辺でのコワーキングスペース運営など、地域活性化に貢献する取り組みにつながっています。



古木にさらなる価値を加えるため、2023年に「SANSU I」ブランドを立ち上げ、パリの「メゾン・エ・オブジェ」に初出展。イタリア人デザイナーのロベルト氏や世界的アーティストのシアスター・ゲイツ氏の展覧会「アフロ民藝」の什器制作に協力するなど、海外市場での高付加価値化とブランド確立を目指しています。

また、京都工芸繊維大学との共同研究で、古木の3Dスキャンによるデータベース化を進めています。これによって効率的な倉庫管理や顧客提案の高度化、オンラインでの流通促進など飛躍的な効果が期待されます。

お問い合わせは、長野県経緯品質協議会（TEL026-228-1171）まで。

# 報告：2025年度経営品質協議会第1回幹事会



経営品質協議会  
課長 渡辺 俊之

2025年度第1回経営品質協議会幹事会は、7月14日（月）帝国ホテルで泉谷代表の挨拶でスタートいたしました。泉谷代表は、猛暑の中でのご参集に感謝を述べると共に、設立30年を迎える本協議会の今後の活動に期待を寄せました。



続いて、キャノンマーケティングジャパン（CMJ）の足立社長が講演を行いました。CMJは、キャノングループの普遍的な企業理念「共生」を持つ中で、事業構造変革を推進し、多様化が進む社員の総合力を結集するため、独自のパーパス「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」を制定したと説明。

徹底した浸透活動により、社員のパーパスへの認知・理解度を大幅に高めるとともに、パーパス実現に向け具体的な組織・事業変革を推進していることが示されました。質疑では、キャノンブランドの強さの中、カメラ・事務機以外の事業多様性を対外的にどう示すかという問いに対し、パーパスを通じて「キャノンブランドの広がり」を訴求する工夫が述べられました（足立社長の講演内容は、次号に掲載予定です）。

その後、経営品質協議会2024年度事業活動報告と2025年度事業活動計画（案）が審議され、承認されました。特に2025年度の活動では、顧客価値経営ガイドラインの改訂、新規セミナーとして「次世代層向け経営の基礎講座」の実施、経営品質協議会設立30年を記念したイベントの実施、会報誌「JQACレポート」のリニューアルと定期発行などに注力してまいります。

質疑では、30年を節目とした広報強化の提言や、会報誌の紙媒体と電子媒体の効果について、さらには海外の経営品質賞において、大手企業の申請減少やNPOの増加、審査方法の変化といった現状が共有され、世界の中での位置付けに関する研究の必要性が提起されました。

最後に泉谷代表は、承認された計画を受けて、不確実な時代における企業の「存在意義」と、無形資産の価値が高まる資本市場の動向を踏まえ、協議会が「役立つ組織」として存在し続けることの重要性を強調しました。次回の幹事会は、2026年2月3日開催予定です。



# 報告：2025年度第1回日本経営品質賞委員会



日本経営品質賞委員会  
事務局 橋本 淳司

2025年度第1回日本経営品質賞委員会が2025年7月4日に開催されました。本委員会では、本年度の表彰制度の概要や申請状況、審査員の任命および審査チーム編成について報告と審議が行われました。

本年度より、賞の名称を「大賞」「優秀賞」「奨励賞」に変更するとともに、経営デザイン「ランクアップ認証」組織を対象とした「特別表彰制度」を創設しました。

藤本委員長は、「本表彰制度の最大の価値は、審査プロセスそのものが学びと企業成長の機会となる『道場』であること。審査チームからのフィードバックや評価レポートがその価値を生み出している。何度でも挑戦を重ねる組織を歓迎する姿勢を、より積極的に伝えていくことが重要」と述べました。

申請状況については、昨年度から大きく件数が増加し、特別表彰についても一定数の申請がありました。委員からは、「コロナ禍で活動を一時中断していた組織が再始動したことに加え、特別表彰制度の創設が将来的な申請増につながるのではないかと期待が寄せられました。一方、「申請数が増加した背景について、継続申請や申請に至らなかった理由をしっかりと把握しておくことが重要」といった意見もありました。

審査員の任命や審査チームの編成に関する審議の際には、「申請組織の増加に伴い、審査の質の維持・向上が極めて重要」、「審査員の資質や育成のあり方がより問われる」、「新たに任命される審査員は、申請組織が持つ新たな経営哲学や社会の変化へのアンテナの感度を深めて審査に臨んでほしい」といった意見やメッセージが委員から寄せられました。

また、今後の賞の方向性については、「激変する社会や地球環境下において、経営トップのビジョンや哲学が経営に与える影響をガイドラインでも強調してはどうか」、「賞創設30年を機に、本表彰制度が進化し続けるものであることを強くアピールすべき」といった提言がなされました。

本委員会での審議を終えて、本年度の審査が正式にスタートしました。今後は、申請組織トップとの対話（トップコミュニケーション）に始まり、現地確認、判定委員会での審議等を経て、11月20日（木）に開催する第2回日本経営品質賞委員会にて受賞組織が決定します（公表は12月中旬を予定）。なお、表彰式は、「顧客価値経営フォーラム2026」（3月5日～6日）の初日、3月5日（木）にイイノホール（東京・内幸町）にて開催します。同フォーラムでは日本経営品質賞創設30周年の節目を記念した特別企画も予定しています。



# イベント情報のご紹介

いままでどこの地域でどんなイベントが開催されているのかを知るには、各地域の経営品質協議会に確認する必要がありました。そこで各地域の地域経営品質協議会と協力のもと、全国で開催予定のイベント情報を一覧でご紹介することになりました。当面、地域経営品質協議会別にご紹介します。

ぜひご参考の上、たくさんのイベントにご参加ください。

## <会津若松経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
会津若松経営品質協議会セミナー 顧客価値経営を掘り下げる 岡本正耿氏	第1回:9/24(水)・25(木) 第2回:10/16(木)・17(金) いずれも10:00~17:00 株式会社太郎庵(会津坂下町字 福原前 4108-1 TEL:0242-83- 3267)	経営トップ・幹部社 員など 会員:40,000円 一般:60,000円 福島県経営品質研 究会会員:50,000 円 *各組織2名以上で 申し込み	下記までメールで <a href="mailto:shoko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp">shoko@tw.city.aizuwak amatsu.fukushima.jp</a> 締切:9/10(水)	
経営品質基礎講座(全9回) TA(交流分析):岡本正耿氏 ホスピタリティマネジメント: 大関ちかこ氏 マーケティング:坂本崇氏	第3回:8/5(水) 第4回:9/10(水) 第5回:10/15(水) 第6回:11/12(水) 第7回:12/9(火) 第8回:2026/1/14(水) 第9回:2/10(火) ★第2-9回は13:00~17:00 場所:アルテマイスター	企業・組織の未来を 担う人材 1回あたり 会員:5,000円 一般:7,000円 福島県経営品質研 究会会員:6,000円	下記までメールで <a href="mailto:shoko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp">shoko@tw.city.aizuwak amatsu.fukushima.jp</a> 応募終了(6/4)	

## <埼玉県経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
もしドラでマネジメント入門研修~経 営品質初級編~ コアクリエイト代表田原浩氏	7/10(木)・8/8(金)・9/4(木) 13:30-17:30 ソニックシティビル8階 805会議室 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1- 7-5ソニックシティビル8階 12	新任管理職、 管理職候補等 費用:全3回分 30,000円	チラシを記入上Eメールにて 応募終了	
顧客価値経営 実践推進者コース 株式会社 エンライト 代表取締役高橋清氏	9/17(水)18(木) 10/15(水)16(木) 11/13(木)14(金) 10:00-17:00 ソニックシティビル8階 805会議室 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1- 7-5ソニックシティビル8階	顧客価値経営を実 践推進する人材養成 費用:事務局まで問 い合わせ	チラシを記入上Eメールにて 募集中	共催団体
「経営の設計図」作成講座 日本生産性本部 主席経営コンサルタント 寺沢俊哉氏	9/26(金)・10/24(金)・11/25 (火) 14:00-17:00 オンライン(ZOOM)	やがて経営品質賞に チャレンジしたい人 費用:全3回分 30,000円	WEBから申込 <a href="https://live5.jp/sqa2025/">https://live5.jp/sqa20 25/</a> 募集中	欠席の場 合はオン デマンド 動画で学 習可能

## <福井県経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
顧客価値経営のコース学習振り返りと 好循環を意識した組織展開 福井県経営品質協議会 運営委員 (JQAA特命理事) 笹川良氏	12/19(金)15:00-17:00 JR福井駅周辺を予定	アセスメントコース 受講者 実践推進者コース 受講者		

## <三重県経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
経営者セミナー(全5回) 岡本正耿氏	8/25(月)17:00~20:00 10/7(火)17:00~20:00 11/26(水)17:00~20:00 2026/1/15(木)17:00~20:00 2/26(水)17:00~20:00 アストプラザ 三重県津市羽所町 700番地	会員限定 費用:全5回 110,000円	下記までメールで <a href="mailto:bsupport@miequality.net">bsupport@miequality.net</a>	参加会員のみアーカイブ配信
9月度月例講演会 ISEKADO 代表取締役社長 鈴木成宗氏	9/29(月)13:30~16:30 (財)三重地方自治労働文化センター研修室	会員・一般参加可能 費用会員:無料 一般:5000円	参加申し込みフォーム <a href="https://forms.office.com/r/gmQN2pHt8R">https://forms.office.com/r/gmQN2pHt8R</a> 締切:9月20日(土)	アーカイブ配信あり
2025仕事に役立つコミュニケーション研修のご案内 大井裕之氏	第1回10/15(水)13:30~16:30 第2回12/10(水)13:30~16:30 ZOOMによるオンライン開催	会員・一般参加可能 費用会員:3,000円 一般:5,000円	参加申し込みフォーム <a href="https://miequality.net/2025/07/25/2025%e4%bb%95%e4%ba%8b%e3%81%ab%e5%bd%b9%e7%ab%8b%e3%81%a4%e3%82%b3%e3%83%9f%e3%83%a5%e3%83%8b%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%b3%e7%a0%94%e4%bf%ae%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/">https://miequality.net/2025/07/25/2025%e4%bb%95%e4%ba%8b%e3%81%ab%e5%bd%b9%e7%ab%8b%e3%81%a4%e3%82%b3%e3%83%9f%e3%83%a5%e3%83%8b%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%b3%e7%a0%94%e4%bf%ae%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/</a> 締切:第1回9月末 第2回11月末	

## <関西経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
顧客価値経営実践推進者コース C2/C3 公益財団法人日本生産性本部 経営品質協議会事務局長柳本直行氏	C2:8/19(火)20(水) C3:9/24(水)25(木) 10:00-17:00 関西生産性本部 会議室 〒530-0005大阪市北区中之島 6-2-27中之島センタービル28階	経営幹部／一般参加可能 費用: 経営品質協議会会員:287,100円 生産性本部賛助会員:316,800円 一般:343,200円 C1~C3受講費用	WEBから申込 <a href="https://www.kpcnet.or.jp/form/?mode=agree&amp;seq=2417">https://www.kpcnet.or.jp/form/?mode=agree&amp;seq=2417</a> 参加申込終了	受講者には顧客価値経営ガイドラインを冊子で贈呈
顧客価値経営ガイドライン勉強会 (経営品質セミナー 第2回) 株式会社伍魚福代表取締役社長 山中勸氏 KQCフォーラムコーディネータ 加賀龍太氏	8/22(金)14:00~18:00 その後、交流会 株式会社伍魚福 本社 〒653-0051神戸市長田区野田町8丁目5番14号	顧経営幹部／一般参加可能 費用関西経営品質協議会会員、審査員経験者:7000円 一般:14,700円	チラシを記入上Eメールにて募集中	7/26(土)に引き続きの開催
KQCフォーラム 第2回講演会 株式会社地球の歩き方代表取締役 新井邦弘氏	9/11(木)15:00~17:00 関西生産性本部 会議室 〒530-0005大阪市北区中之島 6-2-27中之島センタービル28階 ※オンライン配信併用	関西会員限定:経営幹部含、全社員可能 何名でも無料	協議会担当者:川島宛 <a href="mailto:c.kawashima@kpcnet.or.jp">c.kawashima@kpcnet.or.jp</a> 締切は開催1週間前を予定	アーカイブ配信なし
KQCフォーラム 第3回 西精工(株) 本社見学会	10/8(木)15:30~ 10/9(金)7:30~12:00 西精工株式会社 〒770-0005徳島市南矢三町1丁目11-4	関西会員限定:経営幹部含めて、全社員可能 会員:25,300円(予定)見学費用と懇親会代	協議会担当者:川島宛 <a href="mailto:c.kawashima@kpcnet.or.jp">c.kawashima@kpcnet.or.jp</a> 締切は開催1週間前を予定	アーカイブ配信なし

## <徳島県経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
経営品質スタートアップセミナー 公益財団法人日本生産性本部 主席 経営コンサルタント、埼玉県生産埼玉 県/徳島県経営品質賞 判定委員、 埼玉県生産性本部理事寺沢俊哉氏	11/4(火) 13:30～16:30 (公財)とくしま産業振興機構研修室 〒770-0865 徳島市南末広町5番 8-8号徳島経済産業会館2階	経営者、管理職、ご 興味がある方どなた でも 費用:無料	未定	
経営品質ステップアップセミナー 公益財団法人日本生産性本部 経営品質協議会坂本桂一氏	11月中旬～1月中旬 (公財)とくしま産業振興機構研修室 〒770-0865 徳島市南末広町5番 8-8号徳島経済産業会館2階	経営品質賞の申請 にご興味のある方 費用:会員:無料 一般:10,000円	未定	

## <四国経営品質協議会>


会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
顧客価値経営実践推進者コース コース1「経営の設計図編」 公益財団法人日本生産性本部 経営品質協議会事務局長柳本直行氏	9/18(木) 10:00～17:00 19(金) 9:30～16:30 レクザムホール(香川県県民ホー ル) 大ホール棟5階 第1・第2会 議室	経営者、経営幹部、 組織変革の実践・推 進者、次世代経営幹 部候補者 ●経営企画などス タッフ部門 費用:57,750円	WEBから申込 <a href="https://www.spc21.jp/business/quality/prope/ller.html">https://www.spc21.jp/ business/quality/prope ller.html</a> 問い合わせメール <a href="mailto:toiawase@spc21.jp">toiawase@spc21.jp</a>	コース 一括申込 割引有り
顧客価値経営実践推進者コース コース2「ありがたい姿への変革実践編」 公益財団法人日本生産性本部 経営品質協議会事務局長柳本直行氏	10/28(火) 10:00～17:00 29(水) 9:30～16:30 レクザムホール(香川県県民ホー ル) 大ホール棟5階 第1・第2会 議室	経営者、経営幹部、 組織変革の実践・推 進者、次世代経営幹 部候補者 ●経営企画などス タッフ部門 費用:112,750円	WEBから申込 <a href="https://www.spc21.jp/business/quality/prope/ller.html">https://www.spc21.jp/ business/quality/prope ller.html</a> 問い合わせメール <a href="mailto:toiawase@spc21.jp">toiawase@spc21.jp</a>	コース 一括申込 割引有り
顧客価値経営実践推進者コース コース3「経営アセスメント編」 公益財団法人日本生産性本部 経営品質協議会事務局長柳本直行氏	12/2(火) 10:00～17:00 3(水) 9:30～16:30 レクザムホール(香川県県民ホー ル) 大ホール棟5階 第1・第2会 議室	経営者、経営幹部、 組織変革の実践・推 進者、次世代経営幹 部候補者 ●経営企画などス タッフ部門 費用:118,750円	WEBから申込 <a href="https://www.spc21.jp/business/quality/prope/ller.html">https://www.spc21.jp/ business/quality/prope ller.html</a> 問い合わせメール <a href="mailto:toiawase@spc21.jp">toiawase@spc21.jp</a>	コース 一括申込 割引有り

## <経営品質協議会>

会合名／講師	日時／場所	対象／費用	申込方法／締切	備考
経営デザインコース スタートアップクラス(第3回) 経営デザインワーキングメンバー 三宅邦之氏	8/22(金) 10:00-17:00 オンライン開催	(おひとり様) 11,000円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/006356.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/006356.html</a> 募集中	
第2回 実践推進者コース 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 高橋清氏	コース1: 8/21(木) 22(金) コース2: 9/25(木) 26(金) コース3: 10/28(火) 29(水) いずれも10:00-17:00 日本生産性本部会議室 東京都千代田区平河町2-13-12	経営幹部・次世代経営者等 費用: 経営品質協議会会員 287,100円 経営品質協議会個人会員・生産性本部賛助会員316,800円 一般343,200円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html</a> 募集中	
第3回 実践推進者コース 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 高橋清氏	コース1: 10/9(木) 10(金) コース2: 11/12(火) 13(水) コース3: 12/8(月) 9(火) いずれも10:00-17:00 日本生産性本部会議室 東京都千代田区平河町2-13-12	経営幹部・次世代経営者等 費用: 経営品質協議会会員 287,100円 経営品質協議会個人会員・生産性本部賛助会員316,800円 一般343,200円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html</a> 募集中	
第4回 実践推進者コース 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 高橋清氏	コース1: 2026/1/13(火) 14(水) コース2: 2/12(木) 26(金) コース3: 3/12(木) 13(金) いずれも10:00-17:00 日本生産性本部会議室 東京都千代田区平河町2-13-12	経営幹部・次世代経営者等 費用: 経営品質協議会会員 287,100円 経営品質協議会個人会員・生産性本部賛助会員316,800円 一般343,200円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html</a> 募集中	
オンライン第3回 実践推進者コース 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 北井優康氏	コース1: 9/12(金) 17(水) コース2: 10/8(水) 15(水) コース3: 11/19(水) 26(水) いずれも10:00-18:00 オンライン開催	経営幹部・次世代経営者等 費用: 経営品質協議会会員 287,100円 経営品質協議会個人会員・生産性本部賛助会員316,800円 一般343,200円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html</a> 募集中	
オンライン第4回 実践推進者コース 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 寺沢俊哉氏	コース1: 11/5(水) 14(金) コース2: 12/12(金) 19(金) コース3: 2026/1/16(金) 23(金) いずれも10:00-18:00 オンライン開催	経営幹部・次世代経営者等 費用: 経営品質協議会会員 287,100円 経営品質協議会個人会員・生産性本部賛助会員316,800円 一般343,200円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html</a> 募集中	
オンライン第5回 実践推進者コース 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 北井優康氏	コース1: 2026/1/21(水) 28(水) コース2: 2026/2/18(水) 25(水) コース3: 2026/3/18(水) 25(水) いずれも10:00-18:00 オンライン開催	経営幹部・次世代経営者等 費用: 経営品質協議会会員 287,100円 経営品質協議会個人会員・生産性本部賛助会員316,800円 一般343,200円	WEBから申込 <a href="https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html">https://www.jpcc-net.jp/seminar/detail/007051.html</a> 募集中	
第4期未来創造塾 経営品質協議会代表泉谷直木氏 慶應義塾大学大学院教授 岡田正大氏 国立大学法人滋賀医科大学 特任教授小笠原敦氏	第4回: 8/29(金) 14:00~17:30 第5回: 9/12(金) 14:00~17:30 第6回: 9/29(月) 13:30~18:00 場所: 都内会議室	経営者: 経営幹部限定 費用: 経営品質協議会会員 330,000円 日本生産性本部賛助会員 363,000円 一般385,000円	応募終了	
新時代の経営基礎講座~アクティブラーニングで実践力を高める!~ 顧客価値経営ガイドライン企画開発 ワーキングメンバー 高橋清氏	コース1顧客志向編: 10/10(金) 10:00-17:00 コース2価値志向編: 11/6(木) 10:00-17:00 コース3経営志向編: 12/10(水) 10:00-17:00 オンライン開催	若手・中堅社員 費用: 全3回99,000(税込)	WEBから申込 <a href="https://jpc.my.salesforce-sites.com/customers/trainingseminar?no=K029890">https://jpc.my.salesforce-sites.com/customers/trainingseminar?no=K029890</a> 募集中	

## ご案内：「経営品質協議会コンテンツ広場」について

経営品質協議会では、会員の皆様を対象に「経営品質協議会コンテンツ広場」を構築中です。これは、日本経営品質賞受賞組織や経営デザイン認証組織トップのインタビュー動画をはじめ、これまで散在していた動画を一つにサイトにまとめ、ワンストップで映像視聴や資料をダウンロードできる仕組みです。過去の動画や地域の経営品質協議会のイベント動画、JQACレポートの掲載記事と連動した動画、さらには、過去30年にわたる活動のなかで残されている映像などもアップロードしていく予定です。今後は地域の経営品質協議会の皆様にもアクセスできるような仕組みも検討中です。ご期待ください。

お問い合わせは経営品質協議会 (jqa-info@jpc-net.jp)まで 

## ご案内：「顧客価値経営フォーラム2026」について

「顧客価値経営フォーラム2026」を、2026年3月5日(木)・3月6日(金)に開催します。

初日、3月5日(会場：イイノホール 東京・内幸町)には、日本経営品質賞表彰、経営デザイン認証式とともに、経営品質協議会設立30年を記念するイベントも企画いたします。

2日目、3月6日(会場：都内会場)には、日本経営品質賞受賞組織や経営デザイン認証組織の登壇セッションやテーマごとの分科会などの企画を予定しております。

顧客価値経営の実践に向けた学びの場、交流の場としてまいります。開催内容が決まりましたら、ご案内いたします。

お問い合わせは経営品質協議会 (jqa-info@jpc-net.jp)まで。

## 8月号(予定)：特集 日本経営品質賞

巻頭言  
経営者は語る(仮)  
変革の必読書シリーズ(仮)  
日本経営品質賞ってどんな賞?、本音はどこに(判定委員長、申請組織、審査員)、審査員研修の実態など  
全国のイベント情報ほか

## 編集後記

全国の経営品質協議会関係者の皆さんに執筆をお願いしました。変革者としての苦労や息遣いが感じられます。今後も顔写真付きでご紹介してまいりますので引き続きご協力をお願いします!次号は「日本経営品質賞」を特集します。今年で30年になる賞、どんなスケジュールで進められるのか、関係者はどんな気持ちで審査に臨んでいるのかなど、これまで表に出なかった情報をもとにリアルな賞の実態をご紹介します。ご期待ください。

暑さが続きます。皆様どうぞご自愛ください。